TAXAN

TAXAN LED PROJECTOR

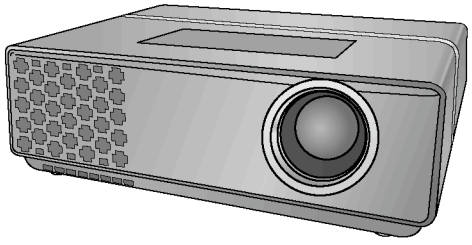
製品をご使用になる前に、本マニュアルをよくお読みください。
本マニュアルは、後で参照できるように保管してください。
製品のモデル番号とシリアル番号を記録してください。

Please read this manual carefully before operating your set.
Retain it for future reference.
Record model number and serial number of the set.

KG-PL105S

取扱説明書

USER'S MANUAL

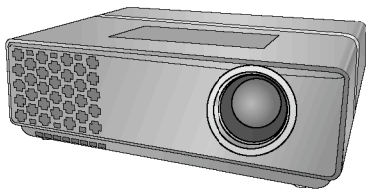


LED PROJECTOR

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると受信妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- DLP®(Digital Light Processing)は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
- XGA は米国IBM Corp. の登録商標です。
- S-VGA はVideo Electronics Standards Association の登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh は米国Apple Inc. の商標です。
- Adobe Acrobat Reader はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



目 次

安全にお使いいただくために 4

各部の名称
本体 7
接続部 7
コントロールパネル 8
リモコン 9
電池を挿入する方法 9
付属品 10

設置と構成
設置に関する注意事項 11
三脚を使用してプロジェクタを設置する方法 12
プロジェクタの基本操作 13
ケンジントンセキュリティシステムを使用する 14
プロジェクタの電源をオンにする 15
プロジェクタの電源をオフにする 15
スクリーン画像のフォーカスと位置を調整する 16
ソースモードを選択する 16

接続
デスクトップPC に接続する 17
ノートブックPC に接続する 17
ビデオソースに接続する 17
DVD 機器に接続する 18

機能

画像メニュー
画像を調整する 19
色調整 20
色温度 20
投影モード 21
ブラックレベル 21
ボタン音選択 22
ボタン点灯選択 22
画面キャプチャ 23

スペシャルメニュー
言語を選択する 24
アスペクト比を変更する 24
ズーム 24
左右反転 25
上下反転 25
オートパワーオフ 26
自動省電力 26
プレゼンタイマー 27
台形補正 27
AVミュート 28
AVミュートイメージを選択する 28
画像の一時停止 29
LED モード 29

スクリーンメニュー
オート 30
位相を調整する 30
クロック周波数を調整する 30
水平位置を調整する 31
垂直位置を調整する 31

USB
USB 装置の使用 32
写真のリスト 33
音楽のリスト 35
動画のリスト 37
DivX の音声/字幕言語 38

情報
サポートされるモニタ表示 39
メンテナンス 40
仕様 41

安全にお使いいただくために

起こりうる事故、またはプロジェクタの誤使用を防ぐため、安全上の注意事項をよくお読みください。

➡ 安全上の注意事項は、次のような2 つの形式で記載されています。

⚠ **警告**: この指示を守らないと、重傷を受けたり場合によっては死亡事故につながる恐れがあります。
⚠ **注意**: この指示を守らないと、軽傷を受けたりプロジェクタの破損につながる恐れがあります。

➡ 本マニュアルを読んだ後には、いつでもすぐに参照できる場所に保管してください。

室内での設置 ⚠ 警告

プロジェクタは、直射日光が当たる場所や熱を発するもの(ラジエータ、火元、ストーブなど) の近くに置かないでください。

火災につながる恐れがあります。

プロジェクタのそばに引火性物質を置かないでください。

火災につながる恐れがあります。

設置したプロジェクタにぶら下がって、子供が遊ばないように注意してください。

プロジェクタが落下して、けがや死亡事故につながる恐れがあります。

室内での設置 ⚠ 注意

移動する前には、電源接続とすべての接続部を取り外してください。

蒸気やオイルを噴出するもの(加湿器など) の近くに置かないでください。

火災や感電につながる恐れがあります。

ほこりがかかる場所に置かないでください。

火災や装置の破損につながる恐れがあります。

テーブルの上に設置する場合は、テーブルの端に置かないように注意してください。

落下して、周囲の人重傷やプロジェクタの重大な破損につながる恐れがあります。適切なスタンドのみを使用してください。

水平で安定した場所でのみ使用してください。

落下して、けがや装置の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタの周囲では、十分な換気を確保してください。プロジェクタと壁の間には、必ず20 cm (8 インチ) 以上の距離をとってください。

内部温度が過度に上昇すると、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

通風孔を塞いだり、空気の流れを妨げないでください。

内部温度が上昇し、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

カーペットやラグの上に直接置いたり、換気が悪い場所に置かないでください。

内部温度が上昇し、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

屋外での設置 ⚠ 警告

水に濡れる可能性がある湿気の多い場所(浴室など) では使用しないでください。

火災や感電につながる恐れがあります。

電源 ⚠ 警告

アース線を必ず接続してください。

- アース端子の接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース端子の接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- アース線が接続されていないと、漏電による感電につながる恐れがあります。
- 接地ができない場合は、有資格の電気技術者が個別の回路遮断器を設置する必要があります。
- 電話線、避雷針、またはガス管には接地しないでください。

電源 ⚠ 警告

電源プラグは電源コンセントに完全に差し込んでください。 火災や装置の破損につながる恐れがあります。	電源コードの上に重いものを置かないでください。 火災や感電につながる恐れがあります。	電源コンセントには、同時に多くのプラグを使用しないでください。 電源コンセントが過熱して、火災につながる恐れがあります。

電源 ⚠ 注意

濡れた手で電源プラグに触れないでください。 感電につながる恐れがあります。	プラグを抜くときには、プラグをしっかりと持ってください。コードを引っ張ると、コードが破損する恐れがあります。 火災につながる恐れがあります。	電源プラグの端子、または電源コンセントにほこりがたまらないようにしてください。 火災につながる恐れがあります。

電源コードまたは電源プラグが破損していたり、電源コンセントが緩んでいるときには、電源プラグを差し込まないでください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	電源コードは、先が尖ったものや高温のもの(ヒーターなど)に触れないように注意してください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	アダプタ、電源コードは本製品以外の製品には使用出来ません。

プロジェクタは、人が電源コードでつまづいたり、人が電源コードを踏んだりしない場所に置いてください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	壁面コンセントの電源プラグを抜き差しして、プロジェクタのオン/オフを切り替えないでください。(電源プラグをスイッチ代わりに使用しないでください。) 機械的な故障や感電につながる恐れがあります。

使用時 ⚠ 警告

液体が入ったもの(花瓶、コーヒーカップ、化粧品、ろうそくなど)をプロジェクタの上に置かないでください。 火災や装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタが強い衝撃または破損を受けた場合は、プロジェクタの電源を切り、電源コンセントからプラグを抜いてサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタにものを落とさないでください。 感電や装置の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタに水がかかった場合は、ただちに電源コンセントからプロジェクタのプラグを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。 感電や装置の破損につながる恐れがあります。	使用済み電池は、安全な方法で適切に廃棄してください。 子供が電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。	画像がスクリーンに表示されない場合は、プロジェクタの電源を切り、電源からプラグを抜いてサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。

カバー類を取り外さないでください(レンズカバーを除く)。感電する恐れがあります。	プロジェクタの使用中は、レンズを直視しないでください。目を損傷する恐れがあります。	通気孔やランプカバーは非常に熱くなっているので、使用中/使用直後には金属部分に触れないでください。

電源コードに関するご注意

ほとんどの機器では、専用の電気系統(1 つの機器のみの電源を供給し、追加コンセントや電源の分岐がない単一の電気系統)を使用することが推奨されています。
壁面コンセントに負荷をかけ過ぎないでください。過負荷になった壁面コンセント、緩んだ/破損したコンセントや延長コード、摩耗した電源コード、亀裂が入った絶縁コードを使用するのは危険です。このような状態は、感電や火災につながる恐れがあります。機器のコードを定期的に点検し、外観上の破損または劣化が見られる場合は、そのコードを抜いて、機器の使用を停止し、同一交換部品との交換を正規のサービス担当者に依頼してください。電源コードが、物理的または機械的な誤用(ねじれ、よじれ、締め付け、ドアの挟み込み、足での踏みつけなど)を受けないよう注意してください。プラグ、壁面コンセント、および機器からコードが出ている部分には、特に注意を払ってください。

使用時 ⚠ 警告

ガス漏れが発生した場合は、壁面コンセントに触れないようにし、窓を開けて換気を行ってください。 火災や火花によるやけどにつながる恐れがあります。	プロジェクタを落としたり、強い衝撃を与えないでください。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。	レンズの中を直接見ないでください。目を損傷する恐れがあります。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。

使用時 ⚠ 注意

プロジェクタの上に重いものを置かないでください。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。	レンズに衝撃を与えないように注意してください(特にプロジェクタの移動時)。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。
プロジェクタのレンズに触れないでください。レンズは傷つきやすく、破損しやすくなっています。	外装が破損するので、プロジェクタの上で先が鋭い道具を使用しないでください。

クリーニング ⚠ 警告

クリーニングには、水を使用しないでください。 火災や感電につながる恐れがあります。	プロジェクタから煙が出たり、異臭がする場合は、プロジェクタの電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いて、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	投影レンズのほこりや汚れを取り除く場合は、エアスプレーを使用するか、中性洗剤と水をしみ込ませた柔らかい布を使用してください。

クリーニング ⚠ 注意

年に1 度は、サービスセンターにプロジェクタの内部部品のクリーニングを依頼してください。 ほこりがたまると、機械的な故障につながる恐れがあります。	プロジェクタケースなどのプラスチック部品をクリーニングするときには、電源プラグを抜いて、柔らかい布で拭いてください。洗剤を使ったり、スプレーで水をかけたり、濡れた布で拭いたりしないでください。特に、洗剤(ガラス用洗剤)、自動車用/工業用の光沢剤、研磨剤、ワックス、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。これらを使用すると、製品を破損する恐れがあります。投影レンズのほこりや汚れを取り除く場合は、エアスプレーを使用するか、中性洗剤と水をしみ込ませた柔らかい布を使用してください。 火災、感電、または製品の破損(変形、腐食、損傷) につながる恐れがあります。

その他 ⚠ 警告

プロジェクタの修理を自分でしないでください。販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

プロジェクタの破損や感電につながる恐れがあり、保証が無効になる場合もあります。

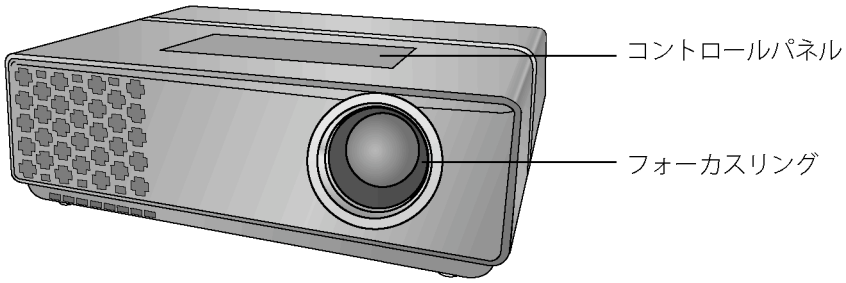
その他 ⚠ 注意

プロジェクタを長い間使用しない場合は、電源プラグを必ず抜いてください。 ほこりがたまると、火災や装置の破損につながる恐れがあります。	新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。 電池の過熱や液漏れにつながる恐れがあります。	指定されたタイプの電池のみを使用してください。 指定以外の電池を使用すると、リモコンの破損につながる恐れがあります。

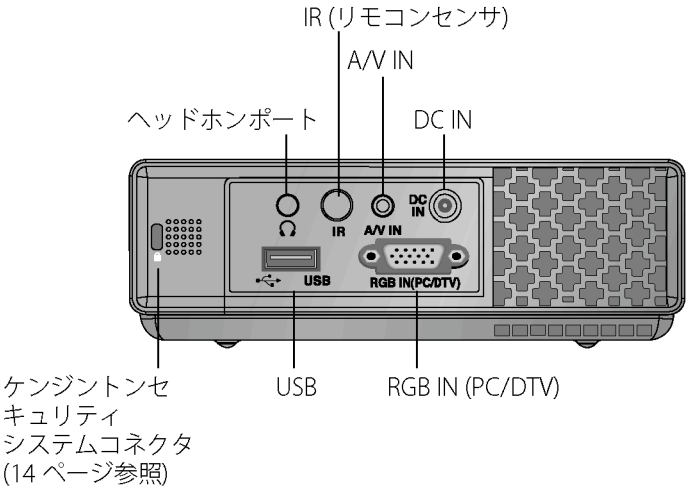
各部の名称

本体

* プロジェクタは高精度な技術を使用して製造されています。しかし、非常に小さい黒い点や明るい点(赤、青、または緑) がプロジェクタスクリーン上に表示される場合があります。これは、製造プロセスによる正常な結果であり、必ずしも動作不良を示すものではありません。

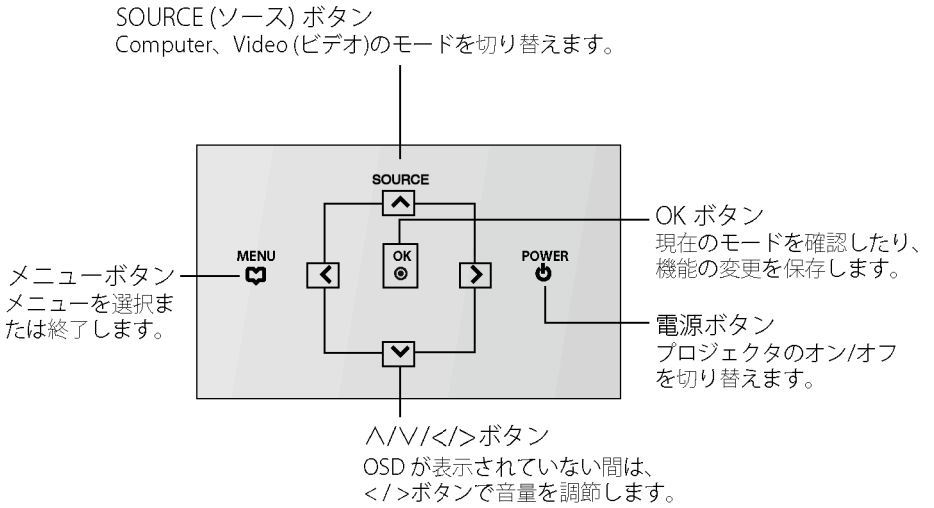


接続部

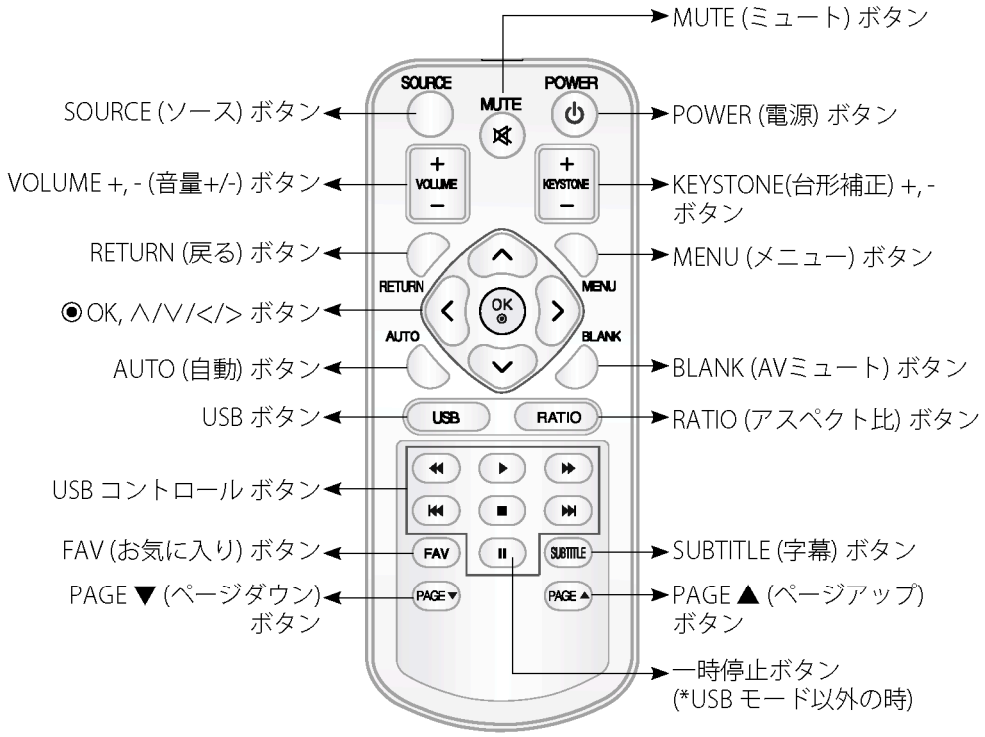


* リモコンが正しく動作するよう、リモコンセンサを塞がないでください。

コントロールパネル

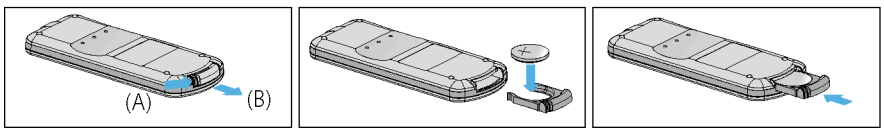

SOURCE (ソース) ボタン
Computer、Video (ビデオ)のモードを切り替えます。
SOURCE
MENU
OK
POWER
OK ボタン
現在のモードを確認したり、
機能の変更を保存します。
メニューボタン
メニューを選択ま
たは終了します。
電源ボタン
プロジェクタのオン/オフ
を切り替えます。
∧/∨/</>ボタン
OSD が表示されていない間は、
< / >ボタンで音量を調節します。

リモコン



電池を挿入する方法

* 正しくないタイプの電池を使用すると、爆発の危険性があります。
使用済み電池は、定められた方法に従って廃棄してください。



1. 矢印(A) の方向にスライドさせて電池カバーを取り外し、矢印(B) の方向に電池カバーを引き出します。
2. プラス側を上に向けて電池を挿入します。
3. カバーを元に戻します。

お知らせ

- 3V のリチウム電池(CR2032) のみを使用してください。
- 使用済み電池は、地域の法令に従って廃棄してください。
- 長期間にわたってプロジェクタを使用しない場合は、電池を取り外してください。

付属品

リモコン

3V 電池

取扱説明書

クリーナ

電源コード

コンピュータ
ケーブル

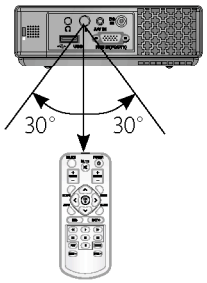
A/V ケーブル

アダプタ

RGB/コンポーネント
ケーブル

お知らせ

- リモコンは、受信部から見て距離1.8m、角度30°(左/右) までの範囲で使用可能です。
- ケーブルが背面の出力端子に接続されている場合、リモコンは、距離3m、角度30°(左/右) 以内で使用することをお勧めします。



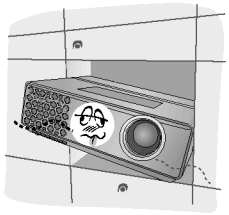
設置と構成

設置に関する注意事項

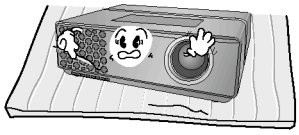
* プロジェクタは、次の注意事項に従って設置してください。これを怠ると、動作不良や製品の破損につながる恐れがあります。

プロジェクタの適切な換気を確保してください。

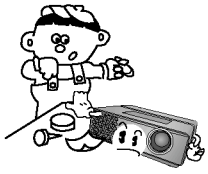
- プロジェクタの底部には吸気用の通気孔、前面には排気用の通気孔が装備されています。これらの通気孔を塞いだり、近くにものを置いたりしないでください。内部温度が上昇し、画像の劣化やプロジェクタの破損につながる恐れがあります。



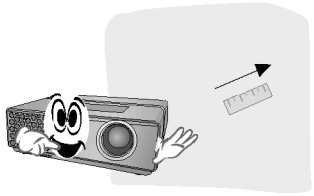
- プロジェクタは、カーペットやラグのような表面の上に置かないでください。プロジェクタ底部の十分な換気が妨げられる場合があります。本製品は、壁または天井のみに取り付けてください。



- プロジェクタを押して動かしたり、プロジェクタに液体をかけないでください。



- プロジェクタの周囲には、十分な距離(30 cm/12 インチ以上) をとってください。



適した温度/湿度条件の場所に置いてください。

- 適した温度と湿度を満たす場所のみに設置してください(41 ページ参照)

ほこりがかかる場所に置かないでください。

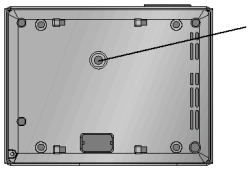
- 過熱につながる恐れがあります。

プロジェクタの通気孔や開口部を塞がないでください。過熱の原因となり、火災につながる恐れがあります。

プロジェクタは高精度な技術を使用して製造されています。しかし、非常に小さい黒い点や明るい点(赤、青、または緑) がプロジェクタスクリーン上に継続して表示される場合があります。これは、製造プロセスによる正常な結果であり、動作不良を示すものではありません。

三脚を使用してプロジェクタを設置する方法

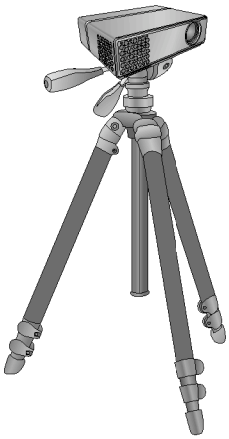
* プロジェクタは、カメラ用の三脚を使用して設置できます。カメラの代わりに、プロジェクタを三脚に取り付けることができます。



プロジェクタの底部

カメラ用三脚

- カメラ用三脚を使用する場合は、プロジェクタとカメラ用三脚の接続部を組み立てます。

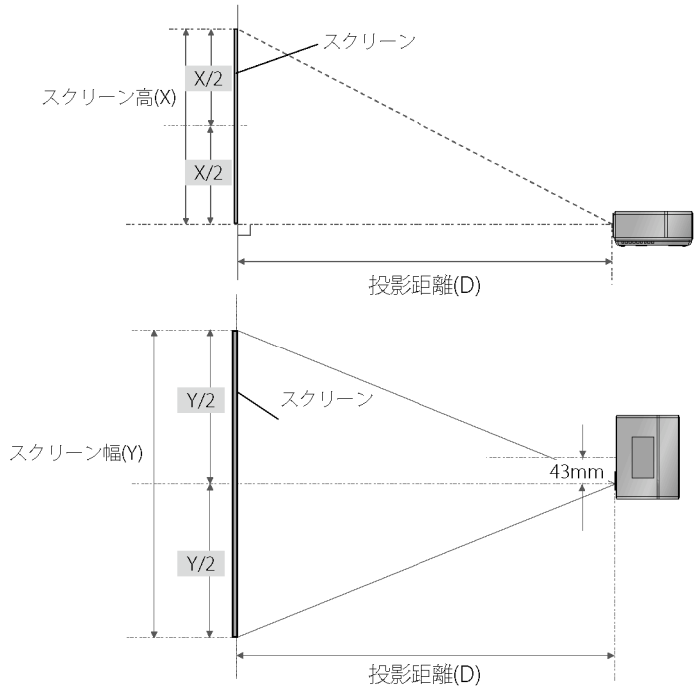


プロジェクタを三脚に設置した状態。

プロジェクタの基本操作

1. コンピュータまたは映像機器とプロジェクタを、安定した水平な場所に置きます。
2. スクリーンから必要に応じた距離をとって、プロジェクタを置きます。プロジェクタとスクリーンの間の距離によって、画像の実際のサイズが決まります。
3. レンズが正しい角度でスクリーンに向くように、プロジェクタを配置します。プロジェクタの角度が正しくないと、スクリーンの画像が歪みます。その場合は、台形補正を行います。(27 ページ参照)。
4. プロジェクタの映像ケーブルを映像機器に接続します。

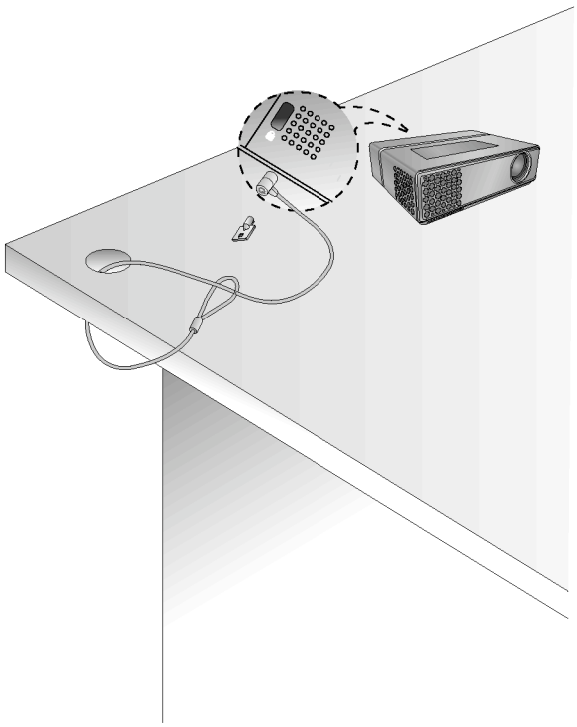
投影距離は画像形式によって変わります。



4 : 3 (縦横比)				
対角線サイズ (インチ)	対角線サイズ (mm)	水平サイズ (mm)	垂直サイズ (mm)	投影距離(D) (mm)
15	381	305	229	406
20	508	406	305	546
25	635	508	381	686
30	762	610	457	827
35	889	711	533	967
40	1016	813	610	1107
45	1143	914	686	1247
50	1270	1016	762	1386
55	1397	1118	838	1528
60	1524	1219	914	1668
65	1651	1321	991	1807
70	1778	1422	1067	1948
75	1905	1524	1143	2088
80	2032	1626	1219	2228

ケンジントンセキュリティシステムを使用する

- プロジェクタの背面パネルには、「ケンジントン」セキュリティシステムコネクタがあります。「ケンジントン」セキュリティシステムのケーブルを下図のように接続します。
- ケンジントンセキュリティシステムの設置と使用方法の詳細については、ケンジントンセキュリティシステム製品に付属のユーザーズガイドを参照してください。
  その他の詳細については、ケンジントン社のインターネットホームページ(http://www.kensington.com) をご覧ください。ケンジントン社は、ノートブックPC やプロジェクタなどの電子装置を幅広く取り扱う会社です。
- ケンジントンセキュリティシステムはオプション品です。



プロジェクタの電源をオンにする

1. 本体のDC IN 端子とアダプタ、アダプタと電源コード、および電源プラグとコンセントを接続します。

2. 上部カバーの ⏻ ボタン、またはPOWER (電源) ボタンを押します(コントロールパネルのランプが点灯します)。

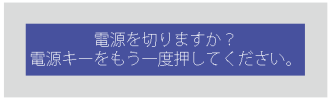
- 付属のアダプタ、電源コードは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください.
- リモコンのSOURCE (ソース)ボタン、またはコントロールパネルの[SOURCE (ソース)] ボタンを押して、必要な入力信号を選択します。
- リモコンのPOWER (電源)ボタン、またはコントロールパネルの ⏻ ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにすると、コントロールパネルのすべてのボタンのランプが点灯します。

プロジェクタの電源をオフにする

1. 上部カバーの ⏻ ボタン、またはリモコンのPOWER (電源)ボタンを押します。

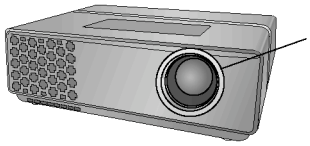
2. 上部カバーの ⏻ ボタン、またはリモコンのPOWER (電源)ボタンをもう一度押すと、電源がオフになります。

- POWER (電源)ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにすると、コントロールパネルのすべてのボタンのランプが消灯します。プロジェクタの電源がオフのときにコントロールパネルのいずれかのボタンを押すと、電源LEDのランプのみが点灯します(電源コードが接続されている場合)。



スクリーン画像のフォーカスと位置を調整する

スクリーンに画像が表示されたら、画像のフォーカスが合っているか、
スクリーンに画像が収まっているかを確認します。



- 画像のフォーカスを調整するには、フォーカスリング(レンズ外側のリング) を回します。

ソースモードを選択する

1. 上部カバーまたはリモコンのSOURCE (ソース) ボタンを押します。

2. <, > ボタンを押すたびに、次のように表示が変化します。

Computer ↔ ビデオ

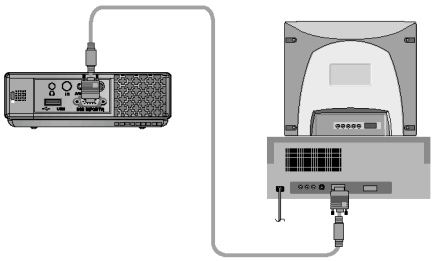
- RGB/コンポーネントケーブルをRGB IN (PC/DTV) 端子に接続してComputer 入力を選択すると、コンポーネント入力を受信できます。
- USB 装置を接続すると、USB ホームメニューが自動的に表示されます。

接続

デスクトップPC に接続する

* プロジェクタは、VGA、SVGA、XGA、およびSXGA 出力のコンピュータに接続できます。
* プロジェクタでサポートされるモニタ表示については、39 ページを参照してください。

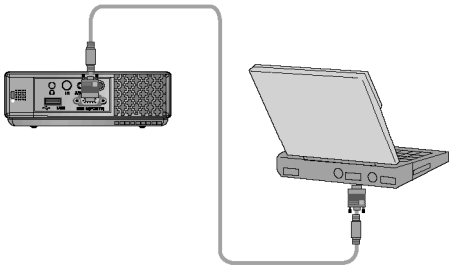
<接続方法>
プロジェクタのRGB IN (PC/DTV) に
コンピュータケーブルを接続します。



ノートブックPC に接続する

<接続方法>
プロジェクタのRGB IN (PC/DTV) に
コンピュータケーブルを接続します。

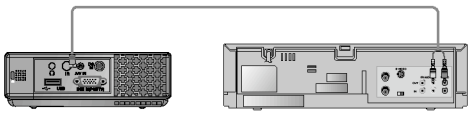
* コンピュータのディスプレイと外部プロジェクタの両方にコンピュータの信号が出力されるように設定すると、外部プロジェクタの画像が適切に表示されない場合があります。
その場合は、外部プロジェクタのみに信号が出力されるように、コンピュータの出力モードを設定してください。詳細については、コンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。



ビデオソースに接続する

* プロジェクタには、ビデオレコーダ、ビデオカメラ、またはその他の互換性のあるビデオ画像ソースを接続できます。

<接続方法>
プロジェクタのA/V IN ジャックとA/V ソースの
出力ジャックをA/V ケーブルで接続します。



<ビデオレコーダ>

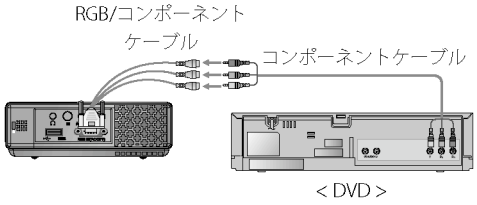
DVD 機器に接続する

* DVD 機器の出力ジャック(Y、PB、PR) には、機器によってはY、Pb、Pr/Y、B-Y、R-Y/Y、Cb、Cr のラベルが付いています。

<接続方法>

a. DVD 機器のコンポーネントケーブルをRGB/コンポーネントケーブルに接続し、そのケーブルをプロジェクタのRGB IN (PC/DTV) 端子に接続します。

* コンポーネントケーブルを接続するときには、コンポーネントケーブルのジャックの色を合わせてください(Y = 緑、PB = 青、PR = 赤)。



< DVD >

機能

* この操作ガイドでは、主にComputer モードの操作について説明します。

画像メニュー

画像を調整する

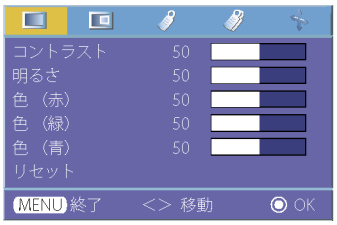
1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。

2. ∧、∨ ボタンを押して、調整する画像項目を選択します。

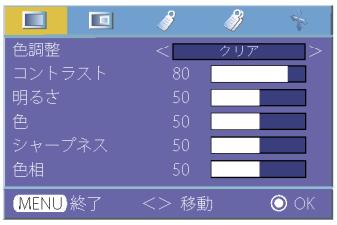
3. <、> ボタンを押して、スクリーン状態を必要に応じて調整します。

- メニューの個々のオプションを調整しても、他の入力に影響はありません。必要に応じて、入力ソースの メニューのオプションを再調整します。
- 変更した後に画像を元の状態に戻すには、**リセット**項目を選択してから⦿**OK** ボタンを押します。
- NTSC 信号を受信している場合は**色相**の画像項目が表示され、調整可能になります(60Hz のみ)。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

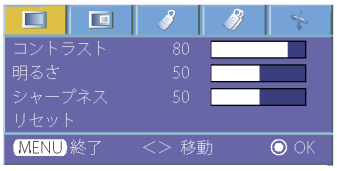
< Computer モード>



<ビデオモード>

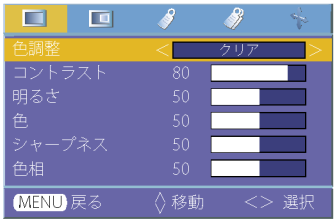


< USBモード>

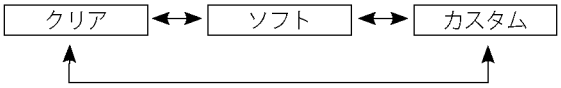


色調整

* 色調整を使用すると、画像表示を最適に設定できます。
* この機能は、Computer モードおよび USB モードでは機能しません。

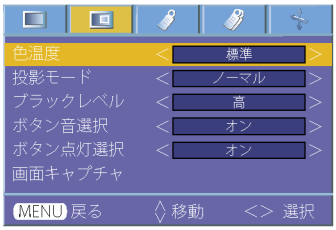


1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**色調整**項目を選択します。
3. <、> ボタンを押して、スクリーン状態を必要に応じて調整します。
   - ∧、∨ボタンを押すたびに、次のように表示が変化します。

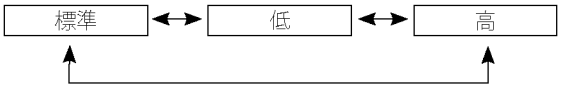


- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

色温度



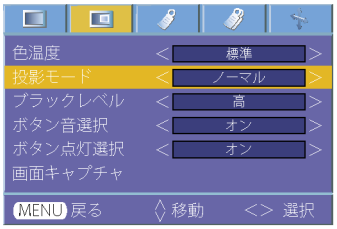
1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**色温度**項目を選択します。
3. <、> ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。
   - ∧、∨ボタンを押すたびに、次のように表示が変化します。



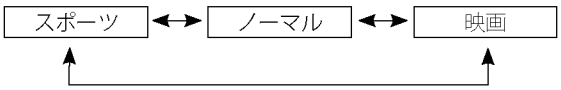
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

投影モード

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**投影モード**項目を選択します。
3. <、> ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。



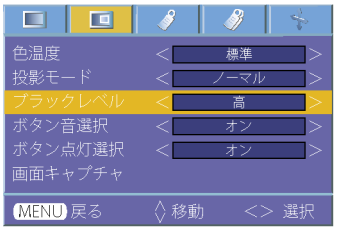
- ∧、∨ボタンを押すたびに、次のように表示が変化します。



- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

ブラックレベル

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**ブラックレベル**項目を選択します。
3. <、> ボタンを押して、**低**または**高**を選択します。

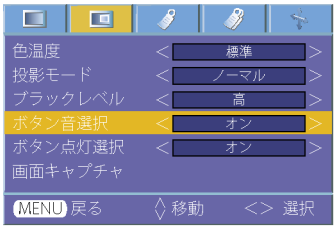


- この機能は、次のモードで機能します。: ビデオ
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

* **ブラックレベル**機能とは?
この機能では、スクリーンのブラックレベルを使用してコントラストと明るさを調節することにより、映画などの画像表示が最適に設定されます。

ボタン音選択

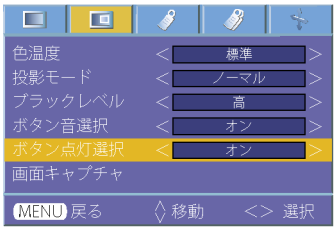
1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**ボタン音選択**項目を選択します。
3. <、> ボタンを押して、**オン**または**オフ**を選択します。



- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

ボタン点灯選択

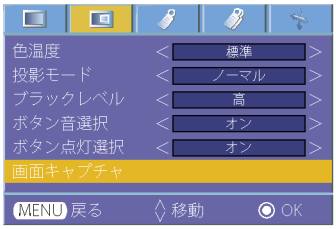
1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**ボタン点灯選択**項目を選択します。
3. <、> ボタンを押して、**オン**または**オフ**を選択します。



- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

画面キャプチャ

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、＜、＞ボタンを使用して メニューを選択します。



2. ∧、∨ ボタンを押して**画面キャプチャ**項目を選択します。

3. ⦿**OK**ボタンを押して、現在のスクリーン画像をキャプチャします。

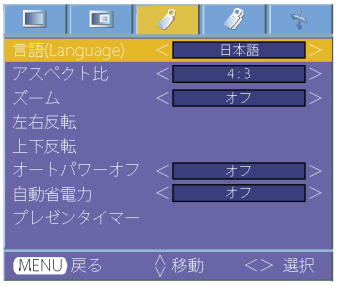
4. ⦿**OK**ボタンを再び押して、スクリーンキャプチャ画像を保存します。

- キャプチャした画像は、AVミュートイメージとして使用できます。（28ページ参照）
- この機能を使用している間は、リモコンを使用できません。
- キャプチャした画像を確認するには、AVミュートでキャプチャした画像を選択します。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

スペシャルメニュー

言語を選択する

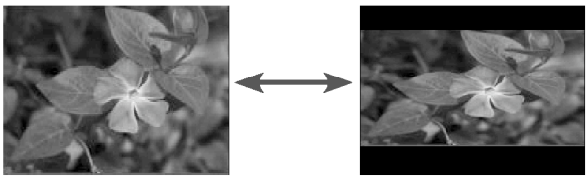
1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**言語(Language)**項目を選択します。
3. <、> ボタンを押して、使用する言語を選択します。



- 選択した言語で、オンスクリーンディスプレイ(OSD)が表示されます。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

アスペクト比を変更する

1. リモコンの**RATIO** (アスペクト比) ボタンを押します。
   ボタンを押すたびに、次のように表示が変化します。



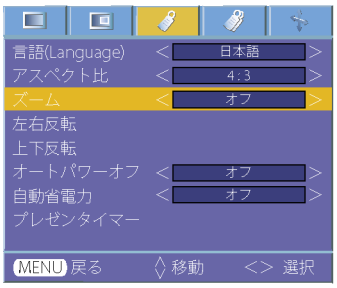
4 : 3　　16 : 9

お知らせ

- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。

ズーム

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**ズーム**項目を選択します。
3. <、> ボタンを押します。



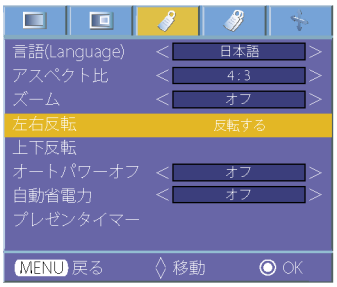
- **ズーム**の調整は、Computer モード、コンポーネントモード、および USB モードでのみ行えます。
- **ズーム**は、**オフ** ~ **10%** の間で調整できます。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

左右反転

* この機能は、投影画像を左右に反転します。
  透過投影で画像を表示する場合は、この機能を使用します。

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**左右反転**項目を選択します。
3. ⦿**OK** ボタンを押すと、反転した画像が表示されます。

- ⦿**OK**ボタンを押すたびに画像が反転します。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。



上下反転

* この機能は、投影画像を上下に反転します。
* プロジェクタの上下を逆にして天井から吊す場合は、画像を上下および左右に反転する必要があります。

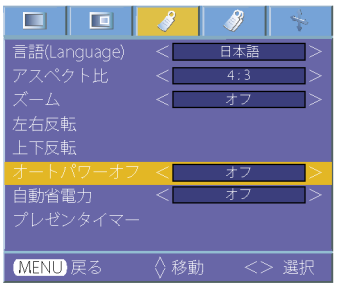
1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**上下反転**項目を選択します。
3. ⦿**OK** ボタンを押すと、反転した画像が表示されます。

- ⦿**OK**ボタンを押すたびに画像が反転します。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

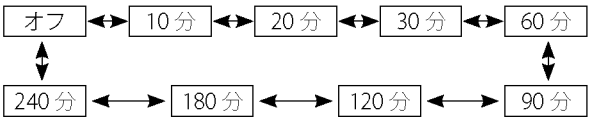
オートパワーオフ

* 事前に設定した時間が経過すると、スリープタイマによりプロジェクタの電源がオフになります。

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**オートパワーオフ**項目を選択します。
3. <、>ボタンを押して、必要に応じたプリセット時間を選択します。



- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

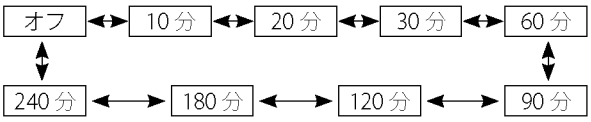


自動省電力

* この機能では、信号が検出されない状態で事前に設定した時間が経過すると、プロジェクタの電源が自動的にオフになります。

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**自動省電力**項目を選択します。
3. <、>ボタンを押して、必要に応じたプリセット時間を選択します。

- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

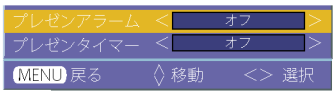


プレゼンタイマー

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。

2. ∧、∨ ボタンを押して**プレゼンタイマー**項目を選択し、⦿**OK**ボタンを押します。

3. ∧、∨ ボタンを押して**プレゼンラーム**項目または**プレゼンタイマー**項目を選択します。



4. <、>ボタンを押して、必要に応じたプリセット時間を選選択します。

5. プレゼンアラームは特定の時間を選択すると動作が開始され、プレゼンタイマーは特定の時間を選択して⦿**OK** ボタンを押すと動作が開始されます。

- プレゼンアラーム：特定の時間を選択すると、その時間が分単位で表示されます。1 分が経過するとスクリーンの右下に残り時間が表示され、5 秒後には表示が消えます。残り時間が表示されると、他の OSD ウィンドウが閉じます。設定した時間が経過すると、「0 分」の表示が1 秒間隔で10 回点滅してから、表示が消えます。
- プレゼンタイマー：特定の時間を選択すると、その時間が分単位(') と秒単位(") で表示されます。他のOSD ウィンドウを表示しても、ウィンドウを閉じると残り時間が再び表示されます。設定した時間が経過すると、0' 00" の表示が1 秒間隔で10 回点滅してから、表示が消えます。
- **プレゼンアラーム**と**プレゼンタイマー**を同時に使用することはできません。
- **プレゼンアラーム**では、5 ~ 60 分までを5 分間隔で設定できます(オフ、5、10、15、20、.....、55、60 分)。
- **プレゼンタイマー**では、1 ~ 10 分までを1 分間隔、10 ~ 60 分までを5 分間隔で設定できます(オフ、1、2、3、4、.....、8、9、10、15、20、25、.....、55、60 分)。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

台形補正

* スクリーンとプロジェクタの角度が正しくないために画像が台形になっている場合は、この機能を使用します。
* 台形補正は、投影角度を最適に調整できない場合にのみ使用してください。

1. リモコンの**KEYSTONE +, -** (台形補正) ボタンを押します。

2. **KEYSTONE +, -** (台形補正) ボタンを押して、スクリーン状態を必要に応じて調整します。

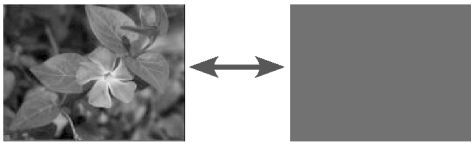
- **台形補正**は-20 ~ 20 に調整できます。
- メニュー画面の台形補正は、**MENU** (メニュー) ボタンまたはコントロールパネルの<、>ボタンを押して使用できます。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

AVミュート

* プレゼンテーション、ミーティング、打ち合わせ中などに相手の注意を引く必要がある場合は、この機能が効果的です。

1. リモコンの**BLANK** (AVミュート) ボタンを押します。
   - スクリーンの表示が消えて、背景画像に変わります。
   - 背景画像は、ユーザーが選択できます。
     (「**AVミュートイメージを選択する**」を参照)

2. いずれかのボタンを押すと、非表示機能がキャンセルされます。
   - 画像表示を一時的に中断するには、リモコンの**BLANK** (AVミュート) ボタンを押します。使用中には、投影レンズを物で塞がないでください。レンズを塞いでいる物が過熱または変形したり、火災につながる恐れがあります。

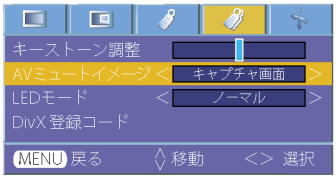


AVミュートイメージを選択する

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。

2. ∧、∨ ボタンを押して**AVミュートイメージ**項目を選択します。

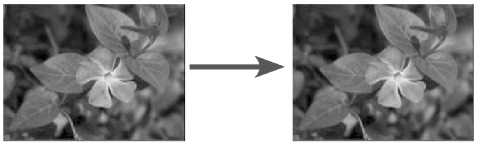
3. <、>ボタンを押して、使用する色を選択します。



- 背景色は、非表示機能で選択した色に応じて変わります。
- 非表示用イメージには、**青**、**黒**、**緑**、または**キャプチャ画面**を選択できます。
- キャプチャした画像がある場合は、ロゴ画像の代わりに、キャプチャした画像を非表示用イメージとして使用できます。ただし、使用できるのは最後にキャプチャした1 つの画像だけです。
- キャプチャした画像がない場合は、**キャプチャ画面**を選択すると、ロゴ画像が表示されます。
- キャプチャ画面を変更する場合は再度画面キャプチャを行ってください。(23ページを参照)
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。
- 一度キャプチャした画像は削除出来ません。(変更は可能)

画像の一時停止

1. リモコンの ⏸ ボタンを押します。
   ● 画像が一時停止されます。



＜プレー画像＞　　＜停止画像＞

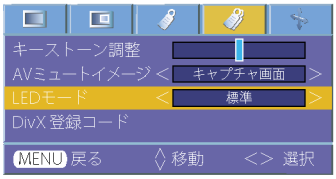
2. いずれかのボタンを押すと、一時停止がキャンセルされます。
   ● 一時停止は10分を経過すると自動的にキャンセルされます。

LED モード

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、＜、＞ボタンを使用して メニューを選択します。

2. ∧、∨ ボタンを押して**LED モード**項目を選択します。

3. ＜、＞ ボタンを押して、**標準**または**エコ**を選択します。



● この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
● **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。
● **DivX 登録コード**については、38 ページを参照してください。

スクリーンメニュー

オート

* この機能では、画像の水平サイズと同期を自動的に調整することにより、最適な画像品質が確保されます。
* 自動設定機能はComputer 入力でのみ機能します。

1. リモコンの**AUTO** (自動) ボタンを押します。
   ● 画像の位置と同期が自動的に調整されます。

2. 自動補正後に、それぞれのComputer モード入力信号に応じて手動で調整する必要がある場合は、メニュー の**位相**、**クロック周波数**、**水平位置**、および**垂直位置**の各機能を実行します。条件によっては、自動補正を使用するだけでは最適な画像品質を得られない場合があります。

お知らせ

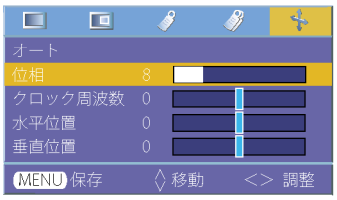
この機能は、**MENU** (メニュー) ボタンから使用することもできます(Computer モードのみ)。
最良の結果を得るため、この機能は静止画像を表示している間に実行してください。

位相を調整する

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。

2. ∧、∨ ボタンを押して**位相**項目を選択します。

3. <、>ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。



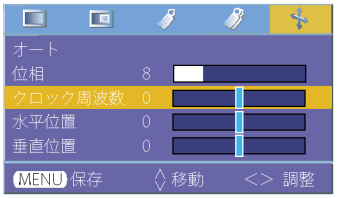
- **位相**の調整範囲は0 ~ 31 です。
- 変更範囲は入力の解像度によって変わります。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

クロック周波数を調整する

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。

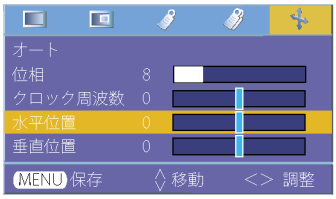
2. ∧、∨ ボタンを押して**クロック周波数**項目を選択します。

3. <、>ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。



- **クロック周波数**の調整範囲は-20 ~ 20 です。
- 変更範囲は入力の解像度によって変わります。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

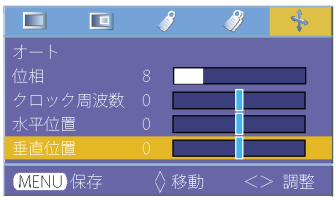
水平位置を調整する



1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**水平位置**項目を選択します。
3. <、>ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。

- **水平位置**の調整範囲は-50～50 です。
- 変更範囲は入力の解像度によって変わります。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

垂直位置を調整する



1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用して メニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**垂直位置**項目を選択します。
3. <、>ボタンを押して、必要に応じた調整を行います。

- **垂直位置**の調整範囲は-50～50 です。
- 変更範囲は入力の解像度によって変わります。
- この機能は、コントロールパネルの ボタンから使用できます。
- **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

USB

* 図に示す内容は、お使いのプロジェクタとは異なる場合があります。

USB 装置の使用

USB 装置を接続する

1. 製品の背面にあるUSB ジャックにUSB 装置を接続します。
2. 接続すると、USB ホームメニューが自動的に表示されます。

＜USB ホームメニュー＞

USB 装置を使用する際の注意事項

▶ 認識可能な装置はUSB ストレージデバイスのみです。デジタルカメラおよび携帯電話はサポートされません。
▶ USB ハブを介して接続されたUSB ストレージデバイスは認識されません。
▶ 自動認識プログラムを使用するUSB ストレージデバイスは、認識されない場合があります。
▶ その製品自体のドライバを使用するUSB ストレージデバイスは、認識されない場合があります。
▶ 同時に複数のメモリーカードを使用していても、認識されるカードは1 枚のみです。
▶ USB ストレージデバイスの認識速度は、それぞれの装置によって異なります。
▶ 接続したUSB ストレージデバイスの動作中は、プロジェクタの電源をオフにしたり、USB 装置を取り外さないでください。動作中の装置を急に取り外すと、保存されているファイルやUSB ストレージデバイスが破損する恐れがあります。
▶ PC 上でユーザーによる変更が加えられたUSB ストレージデバイスは接続しないでください。製品が動作不良を起こしたり、再生に失敗する恐れがあります。通常の音楽ファイルまたは画像ファイルが保存されているUSB ストレージデバイスのみを使用してください。
▶ Windows オペレーティングシステムのFAT32 ファイルシステムでフォーマットされたUSB ストレージデバイスのみを使用してください。Windows ではサポートされていない、異なるユーティリティプログラムでフォーマットされたストレージデバイスは認識されない場合があります。
▶ 外部電源を必要とするUSB ストレージデバイスには、外部電源を接続してください。これを怠ると、装置が認識されない場合があります。
▶ USB ストレージデバイスには、製造元から提供されているケーブルを接続してください。製造元から提供されている以外のケーブルや、長すぎるケーブルを接続すると、装置が認識されない場合があります。
▶ 一部のUSB ストレージデバイスは、サポートされていない、またはスムーズに動作しない場合があります。
▶ フォルダまたはファイルの名前が長すぎる場合は、表示/認識されません。
▶ 名リスト内では一部の日本語ファイル名が正確に表示されない場合があります。
▶ ファイルの並び方は、USB ストレージデバイス内での保存順に基づいています。
▶ USB 装置のデータが破損する場合があるため、重要なファイルはバックアップしてください。データの管理は、お客様の責任で行ってください。最終的には、製品のデータ破損は製造元による保証の対象外となります。
▶ フォルダおよびファイルの数が1,000 を超えている場合、1,000 を超えるフォルダおよびファイルは表示/認識されません。
▶ サポートされるのは、プライマリパーティションのみです。拡張パーティションがある場合、そのパーティションは表示/認識されません。

写真のリスト

* USB 装置に保存されている写真ファイル(*.jpg) を再生できます。
以下のオンスクリーンディスプレイは、お使いの製品とは異なる場合があります。図はあくまでも、プロジェクタ操作のための参考例として記載しています。

画面構成

1. 選択した項目のスライドショーを再生します。
2. スライドショーの間隔を設定します。
3. フルサイズで写真を表示しながら、音楽を再生します。
4. 上位階層のフォルダに移動します。
5. リモコンに対応するアイコン

フルサイズスクリーンで写真を表示する

* USB 装置に保存されている写真がフルサイズスクリーンで表示されるように、設定を変更できます。
フルサイズスクリーンで写真を表示すると、細部に対する操作が可能となります。

1. ∧、∨ ボタンを使用して、目的の写真を選択します。
2. ⦿**OK** ボタンを押します。
3. 選択した写真がフルサイズで表示され、メニューが表示されます。

- ◢ 90° ◣ 90° (回転): 写真を回転します。
- ◀ 戻る : 前の写真を表示します。
- ▶ 進む : 次の写真を表示します。
- ■ 停止 : 写真の表示を終了します。
- ⦿非表示: フルサイズスクリーンのメニューを非表示にします。
  - フルサイズスクリーンのメニューを再び表示するには、⦿**OK** ボタンを押します。

- 写真の縦横比によって、フルサイズスクリーンに表示される写真の大きさが変わる場合があります。

4. **USB** ボタンを押すと、**USB** ホームメニューに戻ります。
   - JPEG の表示中は、**STOP** (停止) ボタンを押した後に**USB** ボタンを押すと、USB ホームメニューに戻ります。

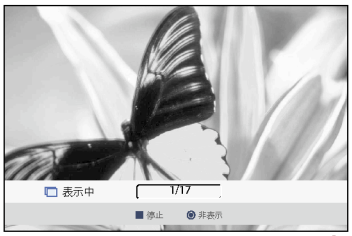
スライドショーを再生する

1. ∧、∨ ボタンを使用して、目的の写真を選択します。
2. ＜ボタンを押して を選択します。
3. ⦿**OK** ボタンを押します。

▶ ■ 停止 : スライドショーの再生を終了します。
▶ ◉非表示 : フルサイズスクリーンのメニューを非表示にします。
● フルサイズスクリーンのメニューを再び表示するには、⦿**OK** ボタンを押します。

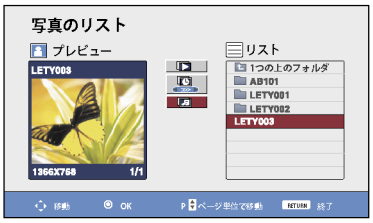
❶ ❷

4. ＜ボタンを押して を選択します。
5. ＜、＞ボタンを使用して、スライドショーの間隔を設定します。
6. ⦿**OK** ボタンを押して、間隔の設定を保存します。
7. ＜ボタンを押して を選択します。
8. ⦿**OK** ボタンを押すと、写真をフルサイズで表示しながら音楽を再生できます。
   オプションで、音楽機器とアルバムを設定してください。
   ● この機能を使用するには、**音楽のリスト**で**FAV** リストを保存する必要があります。
9. **USB** ボタンを押すと、**USB** ホームメニューに戻ります。
   ● スライドショー/BGM 機能の使用中は、**RETURN** (戻る) ボタンを押した後に**USB** ボタンを押すと、**USB** ホームメニューに戻ります。



❸

❹ ❺ ❻



❼ ❽

お知らせ

- プログレッシブJPEG 形式の写真は、デコードされない場合があります。
- 幅が4800 を超える解像度はサポートされません。
- 読み込み中には、一部のボタンが動作しない場合があります。

音楽のリスト

* 購入済みの音楽ファイル(*.MP3)には、著作権による制限が含まれる場合があります。著作権があるファイルの再生は、本製品ではサポートされません。
本装置では、USB装置の音楽ファイルを再生できます。
以下のオンスクリーンディスプレイは、お使いの製品とは異なる場合があります。図はあくまでも、プロジェクタ操作のための参考例として記載しています。

画面構成

1. 上位階層のフォルダに移動します。

2. すべて削除：選択したすべての音楽を削除します。
   ● ミュージックリストから1つの音楽のみを削除することはできません。

3. リモコンに対応するアイコン。

1. a. 音楽を再生する場合は、∧、∨ ボタンを使用して音楽を選択します。
   b. ⦿**OK** ボタンを押して、音楽を再生します。
   c. 選択したフォルダのすべての曲が、繰り返して再生されます。

2. a. 複数の音楽を順に再生する場合は、∧、∨ ボタンを使用して音楽を選択します。
   b. **FAV** (お気に入り) ボタンを押し、次に⦿**OK** ボタンを押すと、音楽のリストが作成されます。
   ● **FAV** (お気に入り) ボタンを押すとが表示され、音楽のリストを編集できるようになります。
   c. 音楽のリストを作成するには、手順a ~ b を繰り返します。
   d. < ボタンを押し、次に⦿**OK** ボタンを押すと、音楽のリストの音楽が再生されます。
   e. 最大30ファイルを保存できます。

3. **USB** ボタンを押すと、**USB** ホームメニューに戻ります。
   ● MP3の再生中は、**RETURN** (戻る) ボタンを押した後に**USB** ボタンを押すと、**USB** ホームメニューに戻ります。

- 再生中に、いずれのボタンも押されていない状態がしばらく続くと、再生情報ボックス(下図参照) がスクリーンセーバーとして表示されます。
- 「スクリーンセーバー」について
  スクリーンセーバーとは、長時間にわたって同じ画像を表示することによる、画面への焼き付きを防ぐためのものです。
- **⦿OK**、■、**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、スクリーンセーバーは終了します。

お知らせ

- 音楽の再生中には、曲名の横に♪が表示されます。
- 有料サービスからダウンロードした著作権付きの音楽の場合は、再生が始まらずに、正しくない再生時間の情報が表示されます。
- このモードでは、リモコンの◀◀、▶▶ ボタンを使用できません。
- インターネットからMP3 ファイルをダウンロ　ードするためには、許可を受ける必要があります。当社には、ダウンロードの許可を保証する権利はなく、その許可は著作権所有者から受ける必要があります。
- 読み込み中には、一部のボタンが動作しない場合があります。

サポートされる音楽ファイル：*.MP3
サンプリング周波数：32～48kHz
ビットレート：32～320kbps

動画のリスト

* USB 装置が検出されると、ムービーリストが有効になります。ムービーリストは、プロジェクタでのムービーファイルの再生に使用します。
USB 装置のフォルダのムービーを表示し、再生できます。
フォルダのすべてのムービー、およびユーザーが必要なファイルを再生できます。
編集(削除、追加など) は行えません。
ムービーリストには、フォルダ情報とDivX ファイルが表示されます。

画面構成

1. 上位階層のフォルダに移動します。
2. リモコンに対応するアイコン。

1. ∧、∨ ボタンを使用して、目的のムービー名を選択します。
2. ⦿**OK** ボタンを押すと、ムービーが再生され、メニューが表示されます。

▶ 調整：ムービー再生中の字幕表示のオン/オフを切り替えます。
▶ 言語(Language)：ムービー再生中の字幕の言語グループを変更します。
▶ 位置：ムービー再生中の字幕の位置を、上または下に変更します。
▶ 同期：ムービー再生中の字幕の時間同期を、-5 秒~ +5 秒の間で1 秒単位で調整します。
▶ アスペクト比：画像形式を4:3 または16:9 に変更します。
● フルサイズスクリーンのメニューを再び表示するには、⦿**OK** ボタンを押します。

3. **USB** ボタンを押すと、**USB** ホームメニューに戻ります。
● ムービーの再生中は、**RETURN** (戻る) ボタンを押した後に**USB** ボタンを押すと、**USB** ホームメニューに戻ります。

DivX の音声/字幕言語

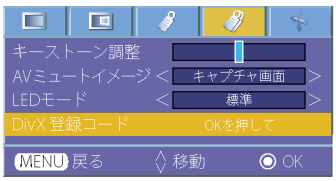
● DivX の再生中に、⦿**OK** ボタンを押してから言語を選択すると、このメッセージが表示されます。

∧、∨、<、>ボタンを押して、必要に応じたオプションを選択します。
MPEG、MP3、PCM、ドルビーD の各ファイルがサポートされます。

DivX 登録コード

プロジェクタのDivX 登録コード番号を確認できます。登録番号を使用すると、www.divx.com/vod でムービーをレンタルまたは購入できます。
他のプロジェクタのDivX 登録コードでは、レンタルまたは購入したDivX ファイルを再生できません(再生できるのは、お使いのプロジェクタの登録コードと番号が一致するDivX ファイルのみです)。

1. **MENU**(メニュー)ボタンを押し、<、>ボタンを使用してメニューを選択します。
2. ∧、∨ ボタンを押して**DivX 登録コード**項目を選択します。
3. ⦿**OK** ボタンを押します。



● **MENU** (メニュー) ボタンを2 回押すか、または**RETURN** (戻る) ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

DivX 登録コード
xxxxxxxx

● 公式のDivX® 認定製品。
● 「全バージョンのDivX® ビデオ(DivX® 6を含む) の再生、およびDivX® メディアファイルの標準再生が可能」
● DivX® 認定製品：「DivX、DivX Certified、および関連するロゴはDivX, Inc. の商標であり、許可を受けて使用されます。」

お知らせ

サポートされるムービーファイル
解像度：720x480 (720x576) (幅x 高さ) ピクセル未満
フレームレート：30 フレーム/秒未満

● ビデオコーデック: MP 43、DIVX_3_11、DIVX_4_12、DIVX_5_0、XVID、MP4S、RMP4、MP4V、_3IVX
● サポートされるファイル形式: *.avi、*.mpg、*.mpeg、*.divx
● 読み込み中には、一部のボタンが動作しない場合があります。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

サポートされるモニタ表示

* プロジェクタでサポートされる表示形式を下表に示します。

ソース	形式	垂直周波数(Hz)	水平周波数(kHz)
VGA	640X480	59.940	31.469
	640X480	72.800	37.861
	640X480	75.000	37.500
	640X480	85.008	43.269
SVGA	800X600	56.250	35.156
	800X600	60.317	37.879
	800X600	72.188	48.077
	800X600	75.000	46.875
	800X600	85.061	53.674
XGA	1024X768	60.004	48.363
	1024X768	70.069	56.476
	1024X768	75.029	60.023

* 入力信号がプロジェクタでサポートされない場合は、スクリーンに「範囲外」のメッセージが表示されます。
* 本プロジェクタは、DDC1/2B タイプのプラグアンドプレイ機能をサポートしています(PC の自動認識)。
* 水平周波数および垂直周波数の同期入力形式は「セパレート」です。
* PC によっては、「登録情報(ディスプレイ登録情報)」に設定されている最大の最適周波数が、最適な垂直周波数として表示されない場合があります。(例: 640X480 または800X600 の解像度では、最適な垂直周波数が最大で85Hz 以下に表示される場合があります。)

<DVD/DTV 入力>

信号		コンポーネント-*1	RGB(DTV)-*2
NTSC(60Hz)	480i	O	X
	480p	O	O
	720p	O	O
	1080i	O	O
PAL(50Hz)	576i	O	X
	576p	O	O
	720p	O	O
	1080i	O	O

* ケーブルタイプ
1. RGB/コンポーネントケーブル
2. コンピュータケーブル
* 良好な画像を得るためには720pが推奨されます。

メンテナンス

* プロジェクタには定期点検がほとんど必要ありません。ごみや汚れがあるとスクリーンに映り込むので、レンズは常に清潔にする必要があります。部品の交換が必要な場合は、販売店にご連絡ください。プロジェクタの部品をクリーニングするときには、必ず最初にプロジェクタの電源をオフにして、電源プラグを抜いてください。

レンズをクリーニングする

レンズの表面にごみや汚れがある場合は、レンズをクリーニングする必要があります。エアスプレーまたは外装用のクリーニングクロスを使用して、あまり力を入れずに製品をクリーニングします。レンズのごみや汚れを取り除く場合は、エアスプレーまたは外装用のクロス(製品付属) と中性洗剤を入れた水を使用します。

プロジェクタ本体をクリーニングする

プロジェクタ本体をクリーニングする場合は、最初に電源ケーブルを抜いてください。ごみやほこりを取り除くには、付属のポリッシングクロスで外装を拭きます。レンズのごみや汚れを取り除く場合は、外装用のクロス(製品付属) を使用します。
外装が変形または変色する恐れがあるので、アルコール、ベンジン、シンナー、およびその他の化学洗剤は使用しないでください。

仕様

モデル	KG-PL105S	
解像度	800 (横) x 600 (縦) ピクセル	
アスペクト比	4 : 3 (横 : 縦)	
DLP パネルサイズ	0.55インチ	
明るさ(※)	標準：140lm　エコ：標準の約80%	
コントラスト比(※)	1400：1（フルオン・オフ）	
スクリーンサイズ (投影距離)	0.40 ~ 2.23m (15 ~ 80 インチ)	
リモコン距離	1.8m	
ビデオ互換性	NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N	
電源	19.5V⎓,6.15A	
AC-DC アダプタ	LG, PA-1121-04	
高さ(mm)	50	
幅(mm)	154	
長さ(mm)	117	
重量(g)	780	
動作条件	温度	動作時：0°C～35°C 保管/輸送時：-20°C～60°C
	湿度	動作時：0～75% (乾式湿度計による相対湿度) 非動作時：0～85% (乾式湿度計による相対湿度)

※ JIS X 6911 : 2003 準拠